

2012年 4月12日

報道関係者各位

電気をカエル計画静岡 代表 川嶋弘美
浜松市在住 TEL: XXXX-XX-XXXX

取材のお願い「得する節電！子育てママが浜松市に提言」

4月18日9時30分に、市民団体「電気をカエル計画・静岡」が、浜松市環境政策課に、静岡県の自治体の節電状況の調査結果報告書を渡し、11時に浜松市役所記者クラブで「得する節電」について提言します。

- 「電気をカエル計画」～電力自由化と、トクする節電を自治体・産業界に広げます～
福島原発事故を契機に、エネルギーの供給・使用のあり方を変える活動をしている市民グループです。岐阜の一人の農家さんの声かけに始まり、西は兵庫、東は茨城まで約200名が活動しています。
電気をカエル計画 <http://www.ekaeru.jpn.org/>
「電気をカエル計画・静岡」は、子育て中の母親を中心に、幅広い年齢層が活動しています。

- 静岡県の自治体の節電状況を調査しました
夏のピーク時は、消費電力の70%が自治体を含む産業用途で使われています。太陽光や再生可能エネルギーに切替えるには、時間もコストもかかりますが、節電器具を導入するだけで15%を楽に節電できるのです。また、節電は経費削減（＝節税）にもつながります。
まずは、各自治体がどのような節電対策を行っているかのアンケート調査を静岡県で行い、現状を把握しました。35自治体のうち、32自治体から回答いただきました。（回収率91%）

<調査した項目>

- ① 照明の切り替え ②空調の切り替え ③街路灯切り替え
- ④ 電力購入の特定規模電力（PPS）への切り替え ⑤電力販売のPPSへの切り替え
- ⑥ 電気の保安業務の入札の実施について ⑦再生可能エネルギーへの取り組み

<調査結果>

補助金を使う、イニシャルコストを安くするため、購入でなくリース方式を導入するなど、まだまだ改良の余地がある事が分かりました。

浜松市（と島田市）は、自治体で作った電気をPPSに販売しています。電力購入では大幅な経費節減は難しいですが、電力販売は税収不足の自治体が多い中、積極的に実施することも可能かもしれません。

<これからの事>

すぐに実現可能な「トクする節電」を、市民を巻き込んだ自治体主導で進め、産業界・家庭へ波及させ、省エネルギー・省電力型社会を作る提言を続けていきたいと思えます。

「浜松市への提言内容」「節電・電力切り替え・再生可能エネルギー導入に関するアンケート調査結果（A4計10枚）」は、取材に来て下さった報道機関の皆さまに、当日お渡しします。

私たち市民の取り組みについて、より多くの方々にお伝え下さるようお願いいたします。
何卒よろしく願い申し上げます。